

様式第2号（第5条関係）

平成27年 3月26日

出張報告書

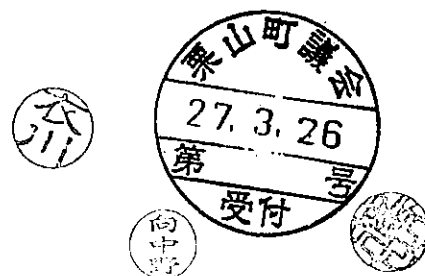
栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員 藤本光行 

このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 平成27年2月23日 ～ 平成27年2月24日まで
- 2 旅 行 先 東京都（JA全中、衆議院議員渡辺孝一事務所）
- 3 目 的 農協改革に関する視察研修
- 4 関係書類 別紙のとおり



日 時	平成 27年 2月 23日 16:30 ~ 17:30
視 察 先	衆議院議員会館 渡辺孝一事務所
調査事項	1.TPPをめぐる状況について
対 応 者	衆議院議員 渡辺孝一氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 （感想、政策提言、課題など）	別紙

視察研修報告

1 視察目的

2 視察内容

TPP 交渉については、1 月下旬にマスコミが農産物の輸入に関する具体的な数値を含めた報道を行ったことで、生産者には動揺が広がっている。

地元選出国会議員である渡辺孝一氏を訪ね、わが町にも多大な影響を及ぼしかねない TPP 交渉について、国政における議論の内容と進捗状況について説明を受けた。

TPP については国会内でもなかなか情報開示がされていないことや、一方で様々な国同士が様々な分野で利害対立をしていて、なかなか進捗していない面もあるらしいなどの説明を受けた。

TPP が、農業分野をはじめ地方自治体や地域社会に多大な影響を及ぼす懸念があることを、強く伝えた。

4 考察

TPP 交渉については、参加各国がさまざまなせめぎあいを現在も行っている現状が垣間見えた。

その中で、国内に対しても世論形成のためのかけひきが行われており、地方は地方の立場としての明確な意思を示していく必要があると感じた。

日 時	平成 27 年 2 月 24 日 10:00 ~ 12:00
視 察 先	全国農業協同組合中央会
調査事項	農協改革に関する内容と今後の対応について
対 応 者	JA 全中 農政部長 小林寛史氏
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提言、課題など)	別紙

視察研修報告

1 視察目的

2 視察内容

政府が進める農協改革について2月8日、政府と全中が大筋合意した。こののち農協法の改正が行われるという局面を迎えている。そこでJA全中を訪ね、政府が示している農協改革の内容とそのことが地域社会にどのような影響を及ぼすかについて説明を受け、意見交換を行った。

4 考察

懇談の中では全中と政府による駆け引きの話などが出たり、農協がより農業者に寄り添った組織に変わって行かなければならないなどの意見がでたが、農業者のよりどころであり、地方地域にとって重要なインフラである農協の重要性については意見の一致を見た。

総括

今回調査した TPP 交渉、農協改革、ともに国政の場で議論されている事柄であるが、その内容について様々な情報や説明を受け意見交換も行ったが、その結果が地方に大きな影響を及ぼす事柄であることの再認識ができた。

両事案とも、直近における大きな憂慮事項であることから、地方の実情を訴える国への意見書の提出が必要と考える。